

■良好な環境を活用した観光推進ウェビナーを開催しました！

- ・日時 令和7年11月11日（火）10:30～12:00
- ・形式 オンライン
- ・主催者 環境省 水・大気環境局環境創造室

環境省では、地域の自然や文化を磨き上げた良好な環境を観光資源として活用することで、保全と活用の好循環を目指す取組の推進を目的に、「良好な環境を活用した観光推進ウェビナー」を開催し、約100名にご参加いただきました。

ウェビナーでは、「良好な環境を活用した観光モデル事業」の概要説明に加え、同事業に採択された団体による取組事例の発表、環境省職員を交えたトークセッション、環境省の「水辺の環境活動プラットフォーム」の紹介、ならびに質疑応答が行われました。



『良好な環境を活用した観光推進ウェビナー』



事業概要説明

環境省 水・大気環境局 環境創造室 室長 森川 政人

冒頭、環境省より良好な環境の創出とモデル事業について説明が行われ、保全と活用を一体的に進める新たな水環境政策の考え方や、良好な環境の管理に関する課題が示されました。あわせて、観光への活用がリジェネラティブツーリズムにつながり、インバウンド観光の推進等を通じて持続可能な観光地域づくりを目指す方向性が共有されました。

モデル事業実施団体の取組紹介

実施団体：大阪府阪南市 未来創生部 まちの活力創造課 中村 隆志 氏

阪南市は、大阪湾に希少な自然海岸を有する地域として、「森里川海プロジェクト」を推進しています。自然共生サイト「阪南セブンの海の森」を拠点に、「都会のすぐそばで「海と森がつながく小さな奇跡」を体感できる」ツアー造成を目指し、海と山の資源調査を行うとともに、観光活用の方向性について地域内で検討を進めています。

実施団体：一般社団法人 大宜味村観光協会 大崎 史丸 氏

沖縄県大宜味村では、やんばるの自然が残る平南川の「ター滝」を中心に、住民と流域との関係性を回復し、対話と制度づくりを通じて「責任ある観光」の実現を目指しています。安全性と楽しさの両立を重視した体験設計を行うとともに、観光協会が管理する駐車場をゲートウェイとし、来訪者が体験前に地域の価値やルールを理解できる仕組みづくりを進めています。

トークセッション



実施団体：一般社団法人 大宜味村観光協会
大崎 史丸 氏

実施団体：大阪府阪南市
未来創生部 まちの活力創造課
中村 隆志 氏

環境省 水・大気環境局 環境創造室
武藤 静

事務局（クラブツーリズム株式会社 地域共創事業部）
白井 愛子

地域の取組紹介の後、各団体の代表と環境省環境創造室の担当者により、「自然を守りながら観光客の満足度を高める工夫」や「地域住民の巻き込み方」、「訪日客向けの情報発信」などをテーマにトークセッションを行いました。

水辺の環境活動プラットフォームの紹介

環境省 水・大気環境局 環境創造室
飛石 佳穂

環境省では、水辺や海辺における環境の保全と活用を支援するため、「水辺の環境活動プラットフォーム」を運営しています。本プラットフォームでは、会員向けのイベント情報や交流掲示板、各地域の取組事例などを掲載しており、良好な環境の保全・活用に関わる行政・企業・団体等の情報交換の場として活用されています。

ウェビナーでは、本プラットフォームの主な機能や登録方法に加え、最新のニュースレター等について紹介が行われ、参加者に対して積極的な活用が呼び掛けられました。



今後の予定・総括

参加者からは、他地域とのネットワーク強化や、プラットフォームを活用した情報共有のさらなる充実を期待する声が多く寄せられました。本ウェビナーは、自然環境の保全と観光振興の好循環に向けた取組を共有する、有意義な機会となりました。

環境省では、令和8年度「良好な環境の創出・活用推進事業」の実施団体を募集しており、今後も本事業を通じて、全国各地における先進的な取組の創出と全国展開を図ってまいります。

令和8年度良好な環境の創出・活用推進事業の実施団体募集について
https://www.env.go.jp/press/press_02364.html

当日の投影資料

ウェビナーで使用した投影資料は[こちら](#)よりダウンロードいただけます。